



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	高杉, 豊; 澤田, 重樹; 村田, 良輔 他
Citation	makoto. 2001, 113, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85835
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



大阪府健康福祉部長
高 杉 豊

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、本府の健康福祉行政に格段の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年10月にWHOは「西太平洋地域ポリオ根絶」を宣言しました。1988年の根絶計画のスタート以来、安価で有効なワクチンと信頼性の高い調査に支えられ、1994年の南北アメリカ地域に次ぐ大きな一歩となりました。しかし、一方、昨年は多くの死者を出したエボラ出血熱を始め様々な新興感染症が猛威をふるい、感染症の脅威を再認識した一年でもありました。とりわけ関西国際空港を有する本府では、常に様々な輸入感染症による危険にさらされており、国や他の自治体との相互連携を含め迅速かつ的確に感染症のまん延防止に対応できる危機管理体制の整備が重要な課題となっております。

ところで、本府は、昨年4月に機構改革を行い、福祉と保健衛生が一体となった総合的施策を展開するため健康福祉部を創設するとともに、感染症対策の中心を担う保健所も、より専門的・広域的活動を行う拠点として府民健康プラザに再編いたしました。これからは、この府民健康プラザを中心に、人権にも配慮した感染症対策にさらに力を入れてまいる所存です。

今後とも、貴協会が培ってこられた豊富な知識や経験と高度な技術を遺憾なく発揮していただき、「健康都市・大阪」の実現に向けて一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々の御発展と会員の皆様方の御活躍、御健勝をお祈り致しまして新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭の御挨拶



財団法人 大阪防疫協会
理事長 澤 田 重 樹

明けましておめでとうございます。

旧年中は当協会の運営に関し、何かとご指導ご鞭撻を賜りまして有り難うございました。

本年もよろしくお願い致します。

昨年11月、理事長辻野守典の辞任に伴い、私が理事長に就任することになりました。私にとりましては、思いもかけない事であり、この歴史と伝統ある協会の運営を、つつがなく全うできるのか自信が持てませんでした。然しながら、色々な事情によりお受けせざるを得ないことになりました。当協会は、今年で54年目を迎えることになります。新しい世紀に向かって、協会の飛躍発展を図っていく為には、新しい発想による事業の開発や、活力ある職場作りが求められております。微力な私ではありますが、全力をあげて頑張っておりますので、皆様方のご協力と御指導・御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は大阪に於いて、雪印乳業による食中毒事故が発生しました。この事件は食品の安全に付いての国民の信頼を裏切ったものであり、決められた事を決められたように実施されず、手抜き作業によって起こったものであったようです。その後、次から次へとこれに類似した事故を始め、異物混入等のニュースが新聞紙上を賑わしました。いずれも品質管理に問題があったようです。

又、老人ホームに於いて、PCO業者が作業の為に持ち込んだ殺虫剤を、入居者が誤飲して死亡するという事故が発生しています。

大きな事故が発生する度に危機管理の必要性が叫ばれますが、その教訓が生かされず、又同じ様な事故が繰り返されることは、誠に残念であります。日常業務は同じ事の繰り返しとは言いながら、マニュアルに定められた事を逸脱せぬよう、日頃より徹底を図って行く必要を痛感いたします。

本年は21世紀のスタートの年に当たります。最後になりましたが、皆様方にとりまして良い年でありますことを祈念いたします。

新年のごあいさつ



大阪市環境保健局長

村田 良輔

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の環境保健行政の推進に格段の御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、大阪市では市民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、また、だれもがあこがれ、住みたいと思うまちづくりをめざし、まちが華やぐ「国際集客都市」、ひとが輝く「生活魅力都市」を目標として、様々な施策を積極的に推進しております。

これらの施策を推進していくうえでは、衛生的で快適なまちづくりが重要です。

本市では、昨年4月から従来の各区の保健所を保健センターとし、これまで行ってきた各種の保健サービスを引き続き実施しながら、より市民に身近な行政サービス機関とするとともに、新たに市内全域を所管し、広域的、専門的、技術的な保健衛生の拠点となる大阪市保健所を設置し、保健センターとの連携のもとに保健衛生の向上や安全な生活環境の確保に努めております。

昨年の夏には、低脂肪乳等を原因とする大規模食中毒事件が発生しましたが、その経験も踏まえて、今後とも広域的な食中毒事件に的確に対応するとともに、更なる危機管理体制の確立、専門技術の強化を図り、危害の拡大を未然に防止してまいります。また、レジオネラ症などの感染症やシックハウス症候群に対する衛生対策をさらに進めてまいります。

貴協会にはこれまで永年培われてきた防疫対策や建築物メンテナンスなど環境整備における実績と成果のもと、活動の一層の充実・強化を図られるとともに、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市保健福祉局
保健衛生部長

山田 修司

あけましておめでとうございます。

旧年中は市政の推進に格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年夏、乳加工品による大規模な食中毒事件を発端として食中毒、異物の混入などが続発、連日製品の回収が行われ、「どの食品なら安全なのか」と市民の驚きと怒りが広がり、食品全体の安全性が改めて問われることになりました。

最新の設備やHACCPなどの高度な管理手法も、運用していくのは人です。保健衛生行政に携わる私たちは、監視指導や自主管理体制の推進を求め事故防止に取り組んできましたが、残念ながら事態を捉えきれていたとはいえません。市民が健康に、安心して暮らせる社会をつくるため、「なぜ事故が起きるのか、どうして防げないのか」といった疑問に、あらためて行政として取り組むべき方策を考え、市民の付託に応えるべきでしょう。

また、感染症予防や医療対策にも同じことが言えます。多剤薬剤耐性菌の出現や新興・再興感染症の問題、そして昨年本市内でも発生した院内感染や多発する医療ミスなど、絶対確実な解決法のない問題が山積する現在、日頃からの積極的な情報収集と的確な発言、不測の事態を想定した危機管理体制の確立がますます重要となっています。

本市としましても、今後一層、この面への機能強化を図り、迅速な対応に向けて努力して参ります。

こうした事業の取り組みと推進にあたり、貴協会が培われてこられた豊富な知識と経験、高度な技術力は、本市にとりましても誠に心強いものです。新しい世紀にも変わらぬお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



東大阪市保健衛生部長

大西 晴 雄

新年明けましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様には、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

本市におきましては、昨年4月に保健所機能の強化と身近な保健サービスの提供の観点から、従来の3保健所から1保健所と3保健センター体制に組織を整備したところでございます。さらに、保健事業を支援するため、保健衛生システムの開発に取り組んでいるところでございます。

この保健衛生システムは、いろいろな医療情報をデータベース化するとともに地域特性の把握などをおして、評価や的を絞った事後フォローを関係職種が連携して当たれるよう、保健所と各センター等の間を結ぶネットワークシステムであります。このシステムにより、健康相談の対応は勿論のこと、感染症の発生時にも、今までと違った視点での分析や対応が可能となるものと、期待しているところでございます。

さて、20世紀最後の年であった昨年は、雪印の事件を始めとする食品の安全性の問題や、O 157の発生件数の増加など、健康危機管理について一層の推進の必要性を認識させるものでした。

また、近年シックハウス症候群の問題が取り上げられておりますが、市民の快適で健康的な生活を確保するために、生活環境面に対するきめ細やかな対応が求められているところです。

このような状況の中、今後とも本市保健衛生行政を更に推進していくために、豊富な経験と高度な知識技術を培われている貴協会のなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



大阪府保健所長会 会長
豊 中 保 健 所 所 長

圓 山 誓 信

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

香水の匂いのする小ざれいなトイレ。かつてマクナルドやミスタードーナッツが提供するトイレの清潔さに感心した日本人は多かったのではないのでしょうか。その清潔文化をもたらし国、アメリカからやってきた社会学者でさえ日本で数多く出回っている抗菌グッズにはびっくりするそうです。化学薬品の手を借り、身体に病原菌がよりつくのを防止しようとするこのメンタリティの背後には、日本人の行き過ぎた健康や生存に対する不安が、また、その不安を克服するのに共存ではなく排除の論理が働いているのが見え隠れします。

化学薬品といえば、日本は世界の稲作耕地面積のわずか数%を占めるに過ぎないのに、全世界で消費される稲作用肥料の半分近くを消費しているそうです。化学薬品は私たちに恩恵をもたらしてくれた反面、自然均衡の恐るべき破壊因子として作用することを如実に示してくれたのが、今では古典となっているレイチェル・カーソンの『沈黙の春』でした。抗菌グッズを過剰にまた無批判に使う延長線上に『沈黙の春』の悲劇があるような気がしてなりません。

地球温暖化やオゾン層破壊など、人間の快適さの追求の営みが世界的規模で環境に影響を及ぼす時代、そして、そのことによって、人類自らの破壊だけでなく、地球全体の破壊をもたらす危惧も出てくる時代になってきました。世界環境倫理学会の主張の中に、動物や昆虫、植物はいうまでもなく、無機物の生存権までがうたわれていますが、ここには人間の活動を制限しなければならないという祈願が込められている気がします。人類によるそのような自覚的抑制によってしか人類を破滅から救う道はないというのは示唆的です。21世紀にはこれまで以上に新しい発想が必要とされるに違いありません。

皆様方のご活躍をご期待申し上げます。

新年のご挨拶



財団法人
阪大微生物病研究会
理事長 東 雍

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、財団法人阪大微生物病研究会のワクチン事業の遂行に格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今、ワクチンの中でインフルエンザワクチンが社会的にも関心の的となっていますが、その有効性安全性が再評価されて以来接種者数が増加し、昨シーズン品不足を来したことは周知の通りです。また接種回数についても、0～12歳は2回、13～64歳も基本的に2回、65歳以上は1回と厚生省より正式見解が発表されました。

そのような中で今シーズンの需要予測は全国で474～693万本（1ml／1本）と推計されましたが、実状は約760万本が製造されています。この本数の多寡は現在では不明ですが、メーカーとしては1本でも多くのワクチンが国民の皆様へ接種されインフルエンザの予防に役立てていただければ幸いです。

なお、2001年度からは予防接種法の改正で65歳以上の高齢者へのインフルエンザワクチンの接種は一部公費負担となる予定です。次シーズンの需要量の予測について、流通の最先端におられる皆様方のご意見や情報をぜひ頂戴したいと存じます。

さて、当財団ではインフルエンザワクチンの他ジフテリア、破傷風、百日咳、日本脳炎、麻しん、風疹、水痘等のワクチンを製造供給し、日本はもとより世界の人々の感染症予防の一役を担っているところですが、常に有効性と安全性を希求し、既存ワクチンの改良と次世代ワクチンの開発に積極的に取り組んでおりますので、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



株式会社
大阪府食品流通センター
取締役管理部長 豊田博充

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ご健勝のうちに新世紀の年をお迎えのことと心から喜び申し上げます。旧年中は、大阪府中央卸売市場及び加工食品売場の防疫・消毒作業に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、開業23年を迎えました当社は、加工食品団地の運営、中央卸売市場施設の受託管理事業等を行っております。

100業種120店舗の集積商業団地としての加工食品卸売場では、北大阪地域の食品関連小売業者や飲食店の仕入れ利便の役割を果たしておりますが、昨今の景気低迷や大型量販店の増加などに伴い各々の店舗の体質強化と併せ団地の活性化策を構じる必要に迫られております。

その対応策の一環として、加工食品卸売商業協同組合活性化委員会の実行委員により「年末感謝デー」を設営し、近隣の一般消費者向けの良質で安価な食材を提供しております。

この催しは、多様化した食文化へのニーズと正月用品の調達に相まって、好評を得て大へんな賑わいを見せております。

私どもとしましては、この年末の活況が本年への仕事始めへと引き続き、大量の初荷が消費に廻り、景気の回復へと向かっていくことを願っております。

また、消費者の食品に対する安全志向が高まってきた現在、市場の衛生管理が重要となっており、貴協会の優れた技術力に託するところは多大であります。

今後とも当社事業になお一層のご協力を賜りますことをお願い申し上げますと共に、貴協会の益々のご発展と皆様方のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。